

9月10日は
下水道の日です

下水道 地球のための クリーナー



下水道は快適で衛生的な生活環境づくりのパートナーです。

下水道に対する理解を深めてもらおうと、「水の旅見学会」を行っております。

これは、小学生以下の児童を対象に（財）鳥取県天神川流域下水道公社及び中部各市町と協力し、水源地・ダム・下水処理場などの見学や水にかかわる実験をとおして、下水道の大切な役割を知ってもらおうとするものです。

私たちが生活する中で、水はいろいろな形で使われています。

使い終わった水を汚水としてそのまま排出すると、悪臭や蚊・ハエなどの発生源となり、生活環境を悪化させることとなります。

また、汚水が付近の河川から海へと流れ込むと環境破壊の大きな原因になります。

この汚水を元のきれいな水に戻し、快適で衛生的な生活環境の維持、河川や海の環境保全を目的として現在全国で下水道の整備が進められています。

倉吉市は昭和51年度から下水道事業に取り組み、今年で30年目を迎えました。

これからも、市民の皆さまのより良い生活環境の維持のため下水道事業を推進してまいります。市民の皆さまのご理解とご協力をよろしく願っています。

一日も早い接続をお願いします

下水道の供用が始まった区域では、下水道法により、台所、ふろ場、浄化槽式トイレから出る排水は一年以内に、

またくみ取り式トイレは三年以内に下水道に、接続することになっていきます。接続しなければ、生活環境の整備、水質の保全などの下水道の効果も発揮できません。一日も早い接続をお願いします。

排水設備工事は必ず市の指定業者で

排水設備工事は市が指定した業者でなければ行うことはできません。排水設備指定業者に相談の上申し込んでください。

融資制度があります

水洗便所改造資金融資をご利用ください。必要書類などは下水道課に準備していただきます。

対象となる工事：①くみ取り便所の水洗便所への改造②し尿浄化槽を廃止し、公共下水道に接続するための便器、洗浄用具などの改造③これらの工事に伴う給水設備の新設や改造する工事を対象としています。詳しくは下水道課・地域整備課までお尋ねください。

下水道課・地域整備課からのお願い

排水設備は、個人で設置し維持管理するものです。次のことに注意しましょう。

●台所では、残飯や野菜くずを流さないでください。排水管の詰まりや悪臭の原因となります。

●水洗トイレには、専用のトイレトーパー以外のものを流さないでください。便器や排水管の詰まる原因となります。

●排水設備についての詰まり、老朽化などのご相談は、施工をされた倉吉市排水設備指定業者または、下水道課・地域整備課へお問い合わせください。

ご注意ください

最近、調査・点検などの名目で皆さまの自宅を訪問し、宅地内の排水管や私設ますの清掃・修繕を勧める業者があり、倉吉市からの依頼によるものかどうかについて問い合わせが多く寄せられています。

宅地内の排水設備は個人の

財産であり、皆さまが管理するものです。倉吉市が業者に依頼して、皆さまの宅地内にある排水設備を点検・清掃することはありません。排水設備を定期的に清掃することは管理上好ましいことですが、多少汚れているからといってすぐに清掃する必要があるとは限りません。私設ますのふたをあけて、トイレ・台所の排水が流れることをご自分で確認することをお勧めします。

ご不審な点があれば、お問い合わせください。

※問い合わせ先

鳥取県立消費生活センター・中部消費生活相談室（☎223000）

下水道についての お問い合わせは

下水道課

（☎222-8176 / FAX 222-8140）

地域整備課（関金庁舎）

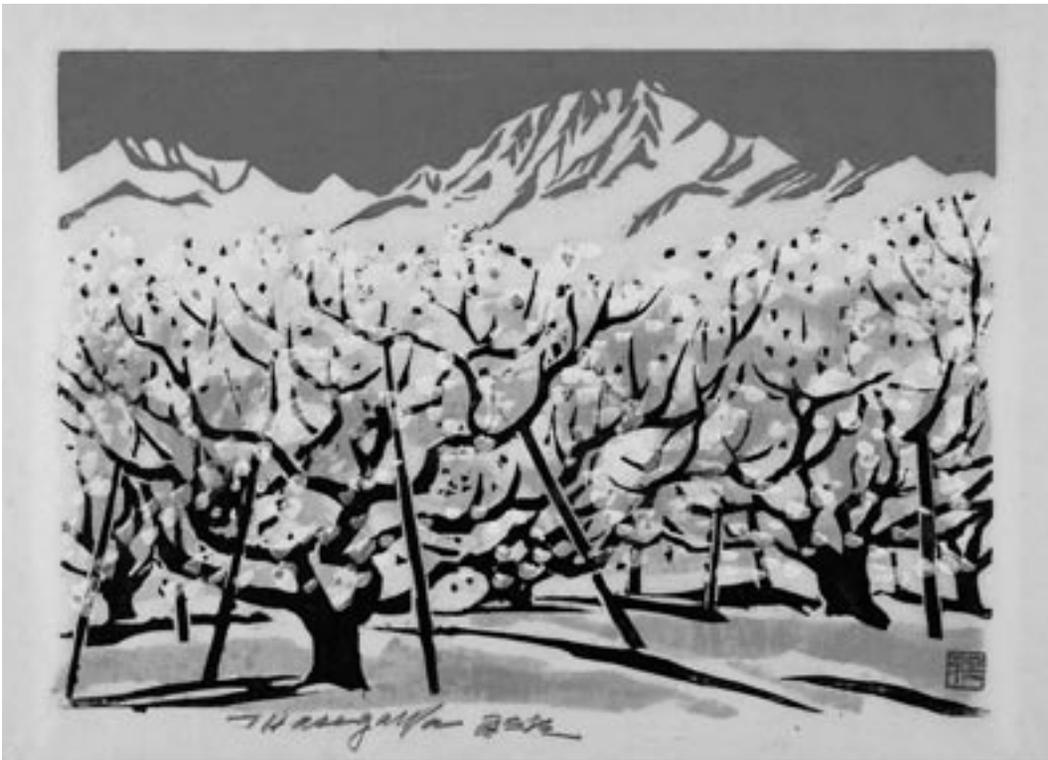
（☎45-2113 / FAX 45-3964）

までお尋ねください。

長谷川富三郎遺作展

9月3日(土)～25日(日) 倉吉博物館

休館日5日・12日・20日



「梨の花咲く」～1976

無弟・長谷川富三郎さん(1910～2004)は、木版画の業績で平成15年度鳥取県文化功労賞を受け、昨年8月に94歳で亡くられました。長谷川さんは姫路市の生まれですが、明倫小学校勤務をきっかけに倉吉に住まわれました。まず(砂丘社)の活動に参加され油絵から始められたのです。

木版画は、民藝運動で師事した陶芸家・河井寛次郎から「板画」を提唱していた棟方志功を紹介されて、その研究に入りました。以後、日本板画院展をとおして全国的なレベルで活躍されました。

初期の作風は明快で力強く、後には躍動感も加味されます。さらに色摺りや裏彩色の作風など幅広いものになります。これらの仕事で県内での木版画の普及と発展に大きな役割を果たされました。

この展覧会で長谷川さんの数多い作品の一端を紹介します。市民の皆さまには、板画の持つ簡明かつ味わい深い魅力を鑑賞していただきます。



「富士晴天」1966



「泥仏放語」1977



「打吹山の伝説による」1980ころ



「河井先醒語録」1982



「源左語録」1967

主催：倉吉市・新日本海新聞社
協力：三朝町教育委員会
入館料
一般 当日 300円・団体 250円
大学生および高校生
当日 150円・団体 100円
中学生以下、身体に障害のある人、
その介助者は無料
午前9：00～午後5：00
(入館は午後4：30まで)

※問い合わせ先：倉吉博物館 (☎ 22-4409/ ☎ 22-4415)
(7)平成 17.9.1

ハート・バリアフリー

倉吉市人権文化センター

☎ 22-4768 / FAX 22-4901

No.9

こんなことで
子どもたちは
傷ついています

身体的虐待

なぐる・ける・つねるなど、子どもの命や健康に危険を及ぼす行為

心理的虐待

「ノロマ」「バカ」「あんたなんか生まなければよかった」などひどい言葉を投げつけるなど

性的虐待

あらゆる形態での性的な接触、性的な目的で子どもを利用する、さわるなど

ネグレスト

生活に必要な世話や病気の治療をしない、子どもの心に関心をはらわない、車の中に子どもを閉じ込めておくなど

平成16年度児童虐待相談処理件数（倉吉児童相談所まとめ）では、県内138件、中部は17件と結果が出ています。（前年度比約65%増）全国統計による内容別では、約半数が身体的虐待が多く、次いでネグレクト、心理的虐待、性的虐待の順で、年齢別で就学以前就学以後の割合はほぼ半々ですが、死亡件数のほとんどは6歳以下の就学前幼児です。



▲かわいい「笑顔」を見つけたよ！

親のほうも、いつもにこやかに愛情いっぱい子どもに向き合える時ばかりではありません。こんな中、児童虐待の加害者の約6割は「子育て」が苦になって、児童虐待につながっているなど、実の母親、そして、実の父親は約2割と言われています。子育ての負担が母親だけに集中している状態が緩和され、女性・男性が子育ての責任を共に果たし、地

児童虐待の現状

近年、少子化とともに児童虐待の急増が大きな社会問題となつていいます。では、児童虐待は子どもにどのような影響や障害を及ぼすのか、それぞれの家庭で振り返り、家族みんなで話し合ってみましょう。

倉吉市では、あらゆる差別をなくする総合計画の第6章に子どもの人権保障の実現」とあります。今回は、子育てに自信のない親の増加や子どもたちのさまざまな問題を、家庭や地域・学校など関係機関などで連携し、子どもたちを支援していくにはどうすればいいのか考えてみましょう。

子どもたちの笑顔を守りたい

また、相談経路別では、「家族から」が最も多く、自ら子育てで不安や困難に陥り、援助を求めている実態があり、状況次第でどんな家庭でも起こりうる問題と言えます。

親子であっても

「一人の人間」

「しつけ」とは、愛情にもとづいて子ども自身が自立して生きていくための必要な情報や知識、技能などを教えることが目的で、子どものためにと思つて、言葉による強制や暴力、また、危害や苦痛など子どもに恐怖心を与え、子どもの行動や感情

「正しいときは「正しい」と

言える環境を

子どもを生んで育てていくということはとても大変なことです。子どもはいつもニコニコしている時ばかりではなく、泣いたり、むずがったり、大人の意に反する行動をとったりすることが多いものです。また、親のほうも、いつもにこやかに愛情

を支配することは、「虐待」であると言えます。力の強い者（大人）と力の弱い者（子ども）という支配関係ではなく、親子であっても「一人の人間」として、感情や価値観（考え方）を尊重する関係が大切です。

だれにも通生義務があります

虐待を受けた児童を発見した人は、だれでも速やかに、児童相談所、または福祉事務所などへ通告する義務が定められています。また、危険であると判断される場合は最寄りの警察に通報してください。通告者の秘密は守られます。

相談窓口

一人で悩まないでお電話を！

- ・倉吉児童相談所（☎ 23-1141）
- ・男女共同参画センターよりん彩相談室（月曜日休館）
（☎ 23-3939）午前9時から午後5時
- ・子どもネットワーク鳥取（☎ 0857-21-4111）
- ・人権文化センター・男女共同参画係・法務局・警察など、平成17年度より市役所福祉課に窓口ができました。
- ・母子自立支援員・家庭児童相談員（☎ 22-8199）

羅州市・倉吉市 少年硬式野球交流大会

8月20日(土) 韓国羅州市の少年硬式野球チーム(羅州ペアーズ)が鳥取県中部の中学生が構成している倉吉ノースリバーズと交流大会を行いました。

羅州市からは選手16人、監督・コーチなど大人6人の総勢22人の来倉でした。

両チームは、19日に合同合宿、20日に温水プール、ホームステイなどを体験し、2泊3日の交流を有意義に過ごして日本をあとにしました。



谷口ジロー『遙かな町へ』小学館

「アカシヨウウビンの里」

倉吉市長 長谷川 稔

盆を中心に今年の3連休は、追いかけるような気分からフレッシュな状態とするよい機会でした。その間におじやました立見地区は、集落の入り口に滑落の恐れのある市道があるため、数年来、改修の要請が出されています。その18戸が、盆には決まって住民総出で公民館広場に集まり、マスマイワナの焼魚をはじめ、唐揚げやおにぎりを作って和気あいあい楽しんでおられます。今年も雨上がりの日差しを浴びて、里帰りの子供連れ、そして生え抜きの

老若男女で大変にぎわっていました。話題が「若い者が就職で都会に出ていくが、できることなら帰ってほしいんだが」となり、ついアカシヨウウビンの事になりました。この7月、民家の軒先に巣を作った赤い羽根の渡り鳥であるアカシヨウウビンの写真を広げ、「ひな鳥を見つめていた親鳥の子を思う気持ちは同じだ」としみじみつぶやかれました。

折しも、国民生活白書では、家族の形態が大きく変化し20〜40代でも単身世帯の増加を指摘しています。そして、その要因に結婚、出産、子育ての回避といった行動をあげています。

倉吉市では、若い世代が住み続け、子育てがしやすいまちづくりを目指しており、今、策定中の第10次倉吉市総合計画では、子どもの幸せを第一に考え、多世代が住み、親と子が顔の見える距離で暮らせる地域づくりを盛り込んでいきます。



レポート
日記

国際交流員

韓召眞
ハンソジン

チムジルバン(청정방)

暑さもおさまり、過ごしやすい季節になりましたね。とくに、9月には3連休が2回あり、旅行を計画している人も多いと思います。9月17日から19日までは、偶然にも韓国も3連休です。実は、韓国ではお盆を迎えるからです。

今回は、韓国旅行を計画している人に、ぜひ体験していただきたい場所を紹介いたします。皆さんは、「チムジルバン」を聞いたことがありますか。

健康ランドのようなところで、金の部屋・銀の部屋・玉の部屋・黄土の部

屋など、サウナだけで10種類以上ありますが、入場料は700円〜1000円と、とても安いです。サウナの温度もさまざまで、気持ちよく寝ることもできますし、何といても24時間営業で、ガウンなどを着用し男女が一緒に入ることができるので家族で楽しめるというところがいいですね！

最近、石油価格の上昇で、営業時間を制限するという話もありますが、韓国旅行をする際、宿泊費を節約したい人にお勧めです。

さらに、「チムジルバン」には、インターネットカフェやレストラン・カラオケまで完備しているところが多く、一日中遊ぶことも出来ますので、ぜひ行ってみてください！



『世界の仲間と友(共)に!』

世界をベースに活動する
シンガーソングライター 南 正人さんをむかえて

さまざまな国の人達と、各国の料理を味わいながら、交友の輪を広げてみませんか。

さらに、アフリカンパーカッション&ダンス、ジャズの演奏、そして、南正人さんのバイタリティあふれる音楽で、“世界はひとつ”ということを経験してみよう。



とき：9月25日(日) 11:00 ~ 21:00

ところ：打吹公園内「飛龍閣」

内容：(1部)世界の料理バザー(フィリピン・アフリカ料理ほか)・アフリカンパーカッションバンド「アイヤ」&ジャズ演奏 / 11:00 ~ 18:00
(2部)南 正人 ゲストライブ / 18:00 ~ 21:00

入場料：1部/無料、2部/2,000円(1ドリンク付)

※高齢者、障害者、外国人など無料招待あり(詳細は問い合わせ先まで)

プレイガイド：工房 GURUGURU(倉吉市国府)、倉吉交流プラザ2F

※問い合わせ先：工房 GURUGURU (☎ 28-2585)

関金地区を紹介するシリーズ

せきなび

⑤ 御幸行列

毎年秋に行われる「御幸行列」は、江戸時代から伝わる関金の伝統行事です。

御幸行列は、湯の関神社・大鳥居神社・日吉神社の例大祭（その神社の毎年定まった時期に行う大祭）として毎年9月中旬に行っています。

三社の神輿の供奉（ぐふ）行列が、江戸時代の参勤交代の供揃えに似ているところから、一般に「大名行列」とも呼ばれます。三社それぞれに伝統の型があり、しきたりも異なりますが、総勢85人で催されます。

先頭を「湯の関神社」が行き、平たんな「道中」行列の形をとります。続く「大鳥居神社」が「登城」

の形式で、上り坂道中行列の形をとります。最後の「日吉神社」が「下城」（下り坂道中行列）の形をとるとされています。

行列の順序、その技・振りなどは大名行列の様を垣間見ることのできる近県にも珍しい民俗行事として毎年、9月15日の神社例大祭のころに開催されました。

最近では、敬老の日前後に開催されており、今年は9月18日（日）に開催されます。午後1時に関金庁舎前をスタートし、温泉街にある地藏院まで行列を行います。

※問い合わせ先…商工観光課（☎22-8158）



届出・証明窓口での「本人確認」にご協力を！

倉吉市では、皆さまの個人情報を守るため、今年8月1日から、市民課の窓口で各種証明書などの交付請求をする際に、窓口に来られた人の本人確認も行っています。10月1日から、税務課などそのほかの窓口でも同様に本人確認をさせていただきます。

ご理解とご協力をお願いします。詳しい内容につきましては、次号の市報でお知らせします。

※本人確認を行う窓口および問い合わせ先

- 市民課（☎22-8155）
- 税務課（☎22-8114）
- 国民健康保険課（☎22-8124）
- 福祉課（☎22-8118）
- 長寿社会課（☎22-7851）
- 建築課（☎22-8175）
- 下水道課（☎22-8176）
- 水道局（☎26-1031）
- 農業委員会（☎22-8171）



とれたて直売市紹介④

「湯命（ゆめい）市」

●開催日時

毎月第3日曜日
午前10時～午後5時

●開催場所

倉吉市関金町 都市交流センター（せきがね湯命館横）

●産物

季節の野菜、加工品、手作り製品、家庭の不用品など

●特徴

直売市と同時に、竹細工、ちまき作りなどの催し物も年数回、計画されています。おふる上りに寄ってみられては、いかがでしょうか。

また、こちらの市は、どなたでも参加費（五百円）を払えば出店できます。参加希望者は湯命館（☎45-2000）まで申し込みください。

※問い合わせ先…農林課地産地消係（☎22-8157）
FAX 22-8136



▲ちまき作りなど、催し物も行われます。



▲農産物、加工品、家庭の不用品などを販売。